




令和6年度 施策評価シート

|           |                                     |           |
|-----------|-------------------------------------|-----------|
| 施策の大綱     | 4. 子育てと子どもの成長を支える環境の充実              | 評価担当者     |
| 基本施策      | (1) 子どもたちの豊かな学びと成長を支える環境の充実         | 教育部長 大平 守 |
| 目指す姿      | 子どもたちが、豊かな学びのもと、未来を創るための力を身に付けています。 |           |
| 関連する分野別計画 | 亀山市学校教育ビジョン                         |           |

■ SDGs

|                   |   |
|-------------------|---|
| 基本施策に関連するSDGsのゴール |    |
| SDGs推進の考察         | <p>個の学び支援事業や学習支援事業など「誰も取り残さない学びの保証」に直結する取り組みを進め、均質な学びの提供に努めていることは、公正な社会構築の起点となることが期待される。また、地域全体が主体者となる「地域学校協働活動」を目指し、地域における子どもの居場所づくりや学校運営協議会の展開を図ることは、家庭・地域とのパートナーシップを深めることにつながるものである。</p>   |

■ 関連する主な事業

(単位:千円)

| 施策の方向 | 事業名                 | 上段: 予算額 | 実績・成果等  |
|-------|---------------------|---------|---|
|       |                     | 下段: 決算額 |   |
| ①     | 放課後子ども教室推進事業        | 13,339  | 全小学校で放課後子ども教室を実施することができた。地域における子どもの体験学習や地域の大人の交流活動を通じて、地域の中で子どもが育まれる居場所をつくることができた。    |
|       |                     | 12,076  |   |
| ②     | 中学校デリバリー給食実施事業      | 47,515  | 年間177回の実施により、必要な回数の給食を実施することができた。生徒対象のアンケートを実施し、委託業者との打合せと新メニューの取り入れにより、献立内容の改善を図った。  |
|       |                     | 47,514  |   |
| ②     | 中学校全員喫食制給食実施事業      | 15,030  | 亀山市中学校給食調理等業務委託業者選定委員会要綱を制定し、業者選定を行った。また、2中学校へ配膳室や給食用エレベーター等必要設備の設置に係る設計業務を完了した。      |
|       |                     | 14,056  |   |
| ③     | 学力向上推進事業            | 1,550   | 教職員の授業力向上を図る研修会を行い、プリント等で児童生徒への学習理解を深めた。運動部活動支援員の登録により、教職員の研究等ができた。                   |
|       |                     | 1,228   |   |
| ③     | 学校図書館支援事業           | 13,540  | 図書館活用アドバイザーの配置により、児童生徒の読書習慣の確立や読書の質の向上につながる取り組みができた。園や小中学校で、親子読書ルーや読書チャレンジの取り組みも実施した。 |
|       |                     | 12,977  |   |
| ③     | GIGAスクール構想推進事業      | 56,981  | 学校の情報教育環境を整備できた。家庭学習でのタブレット端末の活用が向上した。情報モラルに関する授業の指導・助言を行った。児童生徒の情報活用能力が向上した。         |
|       |                     | 56,459  |   |
| ③     | 英語教育推進事業            | 31,874  | ALTの配置により、児童生徒にネイティブな英語に触れる機会を設定することができた。英語キャンプを実施した。英語外部試験等を実施し結果を分析し、授業改善を図った。      |
|       |                     | 29,995  |   |
| ⑤     | 個の学び支援事業(小学校)       | 77,749  | 小学校において、介助員、看護師、生活支援員、学習生活相談員を継続配置し、児童の生活面・活動面及び学習面において必要な支援を行うことができた。                |
|       |                     | 76,217  |   |
| ⑤     | 個の学び支援事業(中学校)       | 18,489  | 中学校において、介助員、学習生活相談員を適切に配置し、特別な支援や多様な支援が必要な生徒に対し、丁寧に対応することができた。                        |
|       |                     | 18,166  |   |
| ⑤     | 生活困窮者自立支援事業(学習支援事業) | 2,454   | 定期的な学習教室の開催や不定期のテスト対策教室の開催等により、児童生徒の学習環境が整い学習習慣の確立と学習内容の定着につながった。                     |
|       |                     | 1,857   |   |
| ⑤     | 少人数教育推進事業           | 9,454   | 少人数教育推進教員の配置により、習熟度別やチーム・ティーチング、個別支援等、児童生徒の状況に応じた指導の充実を図ることができた。                      |
|       |                     | 9,367   |   |
| ⑤     | 校務支援システム事業          | 3,806   | システムの機能を活用することで、会議や打ち合わせの回数削減につながった。また、システムを有効活用するために学校の実態に応じて研修会を実施できた。              |
|       |                     | 3,806   |   |
|       | ※標準事業は別紙参照          |         |   |
|       |                     |         |   |
|       |                     |         |   |
|       |                     |         |   |
|       |                     |         |   |

太字: 主要事業

■ 成果指標

| 指標 | 単位  | 現状値 |      | 実績値 |      |      |      | 目標値  |
|----|---|-----|------|-----|------|------|------|------|
|    |   |     |      | R4  | R5   | R6   | R7   |      |
| 1  | コミュニティ・スクールだより等を作成し、地域への情報発信を年間3回以上行っている学校の数    | 校   | 8    | R2  | 11   | 13   | 14   | 14   |
| 2  | 学校評価アンケートにおける授業理解度(小学校)                         | %   | 90.0 | R3  | 90.0 | 90.2 | 90.8 | 92.0 |
| 3  | 学校評価アンケートにおける授業理解度(中学校)                         | %   | 85.8 | R3  | 87.2 | 88.3 | 86.4 | 89.0 |
| 4  | 「かめやまお茶の間10選(実践)」アンケートにおける取り組んだと回答した保護者割合       | %   | 52.0 | R2  | 66.0 | 64.7 | 62.2 | 70.0 |
| 5  | 学校評価アンケートにおける学校満足度(小学校)                         | %   | 93.4 | R3  | 91.1 | 92.4 | 90.6 | 95.0 |
| 6  | 学校評価アンケートにおける学校満足度(中学校)                         | %   | 91.2 | R3  | 94.1 | 93.1 | 94.2 | 95.0 |
| 7  | 「亀山っ子」市民宣言についてのアンケートにおける目指す子ども像について実感があると回答した割合 | %   | 24.4 | R2  | 28.9 | 31.1 | 28.9 | 30.0 |
| 8  |   |     |      |     |      |      |      |      |

■ 市民アンケート調査

| 項目                     | 現状値 [R2] | 1次 [R5] | 2次 [R6] | 市民アンケートの考察  |
|------------------------|----------|---------|---------|---|
| 1 小中学校の施設や設備が整っている     | 重要度      | 1.40    | 1.46    | 各項目の重要度は横ばいもしくは上昇となっている一方で、満足度は横ばいもしくは若干下降している。保護者層を中心として多様な見方がある中で、本市の教育に関するハード面ソフト面の取り組みに対する要求レベルの上昇と捉えることができる。 |
|                        | 満足度      | 0.43    | 0.32    |   |
| 2 学校教育の内容や取組が充実している    | 重要度      | 1.42    | 1.51    |   |
|                        | 満足度      | 0.26    | 0.24    |   |
| 3 青少年を見守り応援する活動が行われている | 重要度      | 1.34    | 1.38    |   |
|                        | 満足度      | 0.52    | 0.43    |   |
| 4                      | 重要度      |         |         |   |
|                        | 満足度      |         |         |   |

■ 施策推進 [施策の方向]

| 施策の方向                     | 施策推進に関する考察  |
|---------------------------|---|
| ① 学びを支える温かさあふれる学校づくり      | 学校運営協議会を核として、地域と協働し学校づくりを進めた。今後も地域や学校の特性を生かし、安心して学べる環境を整えていく。                         |
| ② 学びの環境の充実                | 中学校全員喫食制給食の実施に向け配膳室等整備工事の設計を行ったほか、亀山市学校施設等長寿命化計画を基に整備内容等も検討した。今後も学びの環境整備の着実な進捗を図っていく。 |
| ③ 希望をもって新しい時代に活躍できる子どもの育成 | 児童生徒一人ひとりが学ぶ楽しさや分かる喜びを実感できる授業改善を図った。今後も子どもたちの学力向上と社会的自立を目指した取り組みを推進していく。              |
| ④ 家庭・地域の教育力の向上            | 「かめやまお茶の間10選(実践)」の取り組みにより、家庭教育の重要性について意識啓発を図った。今後も家庭・地域の教育力の向上を図っていく。                 |
| ⑤ 一人ひとりの学びを支えるきめ細かな教育の推進  | 子どもの特性や事情に配慮した学びの機会の確保に努めた。今後も一人ひとりの悩み等に配慮したきめ細かな指導を行っていく。                            |
| ⑥ 青少年の健全育成と青少年活動の促進       | 地域・福祉・教育の連携による青少年の自立支援や見守り体制の強化に取り組んだ。今後も関係機関等との連携を強化し、青少年の自立支援や見守り体制の強化を図っていく。       |
| ⑦                         |   |

総合評価

温かさあふれる学校づくりとして、小中学校全てに設置される学校運営協議会を中心に学校と地域との連携・協働が進められ、小規模な学校の一層の活性化に向け小規模特認校の取り組みを進めるなど地域や学校の特色を生かした学校づくりが進められた。休日の中学校部活動の地域展開等については、国などの動向も見据えつつ、分野横断的に庁内協議を行った。環境面では、今後の学校施設の適正管理と計画的な修繕や改修等を実施する目安となる計画を策定できたほか、民間の給食センターの活用による中学校全員喫食制給食の実現に向けた受入環境の整備に向け、2中学校への配膳室や給食用エレベーター等の設置に係る設計業務を完了した。子どもの育成については、各学校において、授業理解度や学校満足度について学校間において若干の差が見られたものの、児童生徒が確かな学力を身に付け、新しい時代に必要とされる生きる力を身に付けられるよう、保幼認小連携による切れ目のない教育を実践するとともに、一人一台端末の活用等を通じ、児童生徒一人ひとりが学ぶ楽しさや分かる喜びを実感できるよう授業改善に努めた。「かめやまお茶の間10選(実践)」の継続的な取り組みは、家庭のみならず地域全体での子どもの育みや教育力の向上につながりつつある。きめ細かな教育の推進では、介助員、校内教育支援センター支援員等の配置、全小中学校へ「校内ふれあい教室」の設置や亀っ子サポートへの委託等による不登校児童生徒への支援体制の強化、校務支援システムの活用等により、子どもの特性や事情に配慮した個別最適な学びの機会の確保につながった。青少年の健全育成と青少年活動の促進では、見守り活動における市民満足度はやや減少傾向となっているが、市民団体や地域等の協力を得ながら、体験活動の場の提供や支援に努めた。

B

まずは進んだ

今後の展開方針

学校運営協議会を中心とした取り組みが続けられるよう、様々な立場の方々から参画できる組織としていくため、引き続き地域住民への理解啓発に取り組むとともに、地域学校協働活動に関する目標設定や活動等の検討を行う。中学校部活動の地域展開等については、近隣市の動向を注視し、早期の実現に向け関係部署等と取り組みを進める。また、長寿命化改修等では、詳細な建築物の調査に加え、市の財政状況を踏まえた実施計画の立案や、特別教室及び体育館の空調設備の整備等も併せて検討していく。一方、授業力や生徒指導力を身につけた教職員のさらなる育成や児童生徒の基礎的な学力・体力の定着に向けた取り組みを一層充実・推進していく。加えて、保幼認小・中学校への接続や連携も継続しながら、子どもたちの社会的自立を目指した取り組みも推進していく。さらに、児童生徒が抱える課題の多様化・複合化が進む中、今後も一人ひとりの悩みや背景等への配慮や福祉部門との連携により、きめ細かな指導・支援を行っていく。

■関連する主な事業

(単位:千円)

| 施策の方向 | 事業名               | 上段: 予算額 | 実績・成果等   |
|-------|-------------------|---------|--|
|       |                   | 下段: 決算額 |  |
| ①     | 特色ある学校づくり事業(小学校費) | 2,990   | 学校運営協議会を中心に地域や学校ならではの創意工夫をいかした特色ある学校づくりを推進した。ゲストティーチャーを招いて体験学習活動や学力向上など多岐にわたる内容の取り組みを進められた。                          |
|       |                   | 2,959   |  |
| ①     | 特色ある学校づくり事業(中学校費) | 740     | 学校運営協議会を中心に地域や学校ならではの創意工夫をいかした特色ある学校づくりを推進した。ゲストティーチャーを招いて体験学習活動や学力向上など多岐にわたる内容の取り組みを進められた。                          |
|       |                   | 697     |  |
| ①     | コミュニティスクール推進事業    | 897     | 定期的に学校運営協議会を開催し、たよりを発行することで、活動内容等を周知することができた。  |
|       |                   | 820     |  |
| ②     | 施設整備費(小学校費)       | 25,867  | 関小学校トイレの洋式化改修や亀山西小学校防犯カメラの改修等、予定していた工事を執行し、学校生活環境の向上を図った。  |
|       |                   | 23,505  |  |
| ②     | 地場農畜産物利用推進事業      | 306     | 市内・県内産の食材を多用した「かめやまっ子給食」を22回実施した。また、給食調理員対象に衛生管理と調理実習の研修会を2回実施し、研修後は作業工程や調理器具の点検を行い、各学校現場での調理工程やメニューの改善を図ることができた。    |
|       |                   | 263     |  |
| ③     | 体育・文化活動支援事業(小学校費) | 1,519   | 亀山市文化会館と連携し専門家を招聘し合唱指導の機会や様々な文化公演を行った。また、幼児や児童の体力向上をめざし、各園・各校に専門性のある外部講師を派遣した。                                       |
|       |                   | 1,450   |  |
| ③     | 体育・文化活動支援事業(中学校費) | 418     | 亀山市文化会館と連携し、各校へ文化芸術活動の機会を設定することができた。専門家を招聘し、合唱指導の機会を設けることができた。   |
|       |                   | 309     |  |
| ③     | 中学校体験活動支援事業       | 535     | 全ての中学校で就労体験を実施し、生徒の社会性等を育成することができた。  |
|       |                   | 511     |  |
| ③     | 幼児教育推進事業          | 1,725   | 保幼認小間の切れ目のない教育を目指し、教職員が連携し、情報共有することで、きめ細やかな支援体制を整えることができた。各園の若年職員等の指導のための園訪問や研修会を行った。                                |
|       |                   | 1,433   |  |
| ③     | 教職員研修事業           | 1,276   | 基本研修を6回、教育課題別研修を15回、授業力向上研修を6回開催した。各校への外部講師や市教推各研究部の講師を計画的に派遣し、教職員の主体的な研修を支援した。                                      |
|       |                   | 1,132   |  |
| ③     | 道徳・人権教育推進事業       | 317     | 差別事象の把握や人権・道徳に関わる各校への助言、市主催の人権研修会の実施とともに、子どもたちの実態に合わせた学習、フォーラム、研究授業の実施を通して、子どもたち同士が互いの意見を尊重し、多様性を認め合う姿が見られるなど成果があった。 |
|       |                   | 174     |  |
| ④     | 子育て学習展開事業         | 820     | 保育園等において、保護者対象の家庭教育出前講座を行った。   |
|       |                   | 746     |  |
| ⑤     | 適応指導教室事業          | 11,127  | 教育支援センターで児童生徒と保護者への相談を行った。教職員のスキル向上のため、研修会を開催した。子どもの居場所づくりのために「かめっ子サポート」に委託し体制強化を図った。                                |
|       |                   | 11,045  |  |
| ⑤     | 生徒指導充実事業          | 2,141   | 学校からの要請により、指導主事やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを学校に派遣し、児童生徒の心のケアや関係機関との連携を進めた。  |
|       |                   | 1,807   |  |
| ⑤     | 障がい児支援事業          | 8,030   | 公立幼稚園に在籍する支援が必要な園児に対し、介助員等の職員を加配することで、教育・保育環境の充実を図ることができた。   |
|       |                   | 7,433   |  |
| ⑤     | 特別支援教育推進事業        | 318     | 亀山市教育支援委員会を年間4回開催し、特別支援学校や特別支援学級、通級指導教室など、個に応じた学びの場への就学について、就学先の決定につなげることができた。                                       |
|       |                   | 274     |  |
| ⑤     | 外国人児童生徒教育支援事業     | 2,990   | 外国人児童生徒のいる学校へ外国人児童生徒支援員の配置とボランティアの派遣を行った。就学前の幼児や保護者に向けてプレスクールを開催したり、中学校卒業後の進路ガイダンスを開催した。                             |
|       |                   | 2,670   |  |
| ⑥     | 青少年健全育成費          | 4,095   | 令和6年8月21日～23日に青少年体験活動サマーキャンプを実施したほか、各社会教育団体の事業のサポート及び補助金を交付手続きを行った。  |
|       |                   | 3,872   |  |
| ⑥     | 青少年総合支援センター費      | 8,750   | 補導員により児童・生徒の登下校時等のパトロールを実施し、不審者情報などについて、迅速に特別パトロール対応とした。また、各地域の非行防止部会等と合同パトロールを実施した。                                 |
|       |                   | 7,980   |  |
| ⑥     | 二十歳の集い開催費         | 580     | 令和7年1月12日に「二十歳の集い」を開催し、青少年の社会へ踏み出す第一歩のきっかけづくりに寄与した。  |
|       |                   | 496     |  |
|       |                   |         |  |
|       |                   |         |  |
|       |                   |         |  |
|       |                   |         |  |
|       |                   |         |  |